

特別講座

社会実装を前提とした  
ロボット・AIを用いた  
スマート農業の現状と課題

講師： 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
農業技術革新工学研究センター  
高度作業支援システム研究領域長



八谷 満 氏

～講師紹介～

生研機構（現 革新工学センター）で繋ぎ飼いを対象とした搾乳ロボット開発研究や紫外線励起法を用いたコメの非破壊鮮度評価技術研究、北海道農研では大規模畑作圃場を前提としたキャベツ機械収穫体系や個体別生育マッピング手法の研究など様々な課題に取り組み、農研機構革新工学センターICT 管理役等を経て、現在はスマート農業全般に関わる技術開発の課題などの運営に携わる。



【研究論文】

- ナガイモの形状予測モデルを実装した種イモ切断装置の開発
- ベイズ法を用いたナガイモの形状予測
- 農地周辺を除染する表層土剥ぎ取り機の開発と適応性
- 異なる調製方法と包装資材による貯蔵米の品質評価
- 紫外線励起蛍光画像法を用いた米の鮮度評価技術
- 紫外線励起蛍光画像法を用いた玄米の鮮度評価法の研究
- 環境保全機能向上に向けた米の人工乾燥技術
- 大規模畑作地帯に向けたキャベツの新機械収穫体系の開発と利用
- 繋ぎ飼いや搾乳ロボットシステムの開発
- 大区画圃場に向けたキャベツの新機械収穫体系の構築と評価
- 搾乳ロボットシステムの設計評価に関する基礎研究
- 欧州における搾乳ロボット開発技術の近況
- 繋ぎ飼いや搾乳ロボットシステムに関する研究

講座日程：令和元年6月7日（金）

開始時間 午後2時55分（第4限）

終了時間 午後4時25分（90分授業）

ところ：柏崎市軽井川4730番地 新潟産業大学

参加費：無料